

令和2年度 印西市家庭教育学級だより

かてきょう通信 NO. 12

令和2年 11月 上旬発行

「しかる」って、むずかしい

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を取りながらの毎日が続いていますが、季節はそろそろ冬の訪れとともに、インフルエンザの心配も出てくる頃となりました。引き続き、手洗い・うがい・三密を避けるなど、日々の留意点を心がけていきましょう。

家庭教育学級は、計画に沿って始まった学校も増えてきました。今のところ、充実した学習に取り組んでいるというお話を伺うこともあり、運営委員さんをはじめ、保護者のみなさんや主事の方々に感謝申し上げます。各園や学校から送っていただいている学習記録からはその様子を伺うことができ、大変うれしく思っています。また、感想や課題について、今後の参考にしてまいりたいと思います。また、様々なことからやむなく中止となる場合もあるかと思えます。各園や学校の状況に応じ、ご判断ください。その際は、生涯学習課への連絡もお願いします。

さて、前回、「ほめ方」をお伝えしました。今回は、「**しかり方**」。子育て本は、たくさんあって、いろいろな考え方がありますから、これが正解！というものではありません。参考までに。

★大人の都合での叱責、罰を与える、無視するなど・・・ありがちですね・・・

(例)「なんでいつもそうなの!」「だらしがない!」「早くしないと置いていくよ!」

「そんなことするとお菓子はあげません!」「取り上げます!」・・・etc.

★結果

☞自分に罰を与える相手に対して怒りを覚え、子どもは、より攻撃的・反発的になる。

☞罰を使った子育ては、暴力や圧力で問題が解決できるというメッセージを与える。

☞いかにして罰から逃れるか、という意識が強くなり、反省しなくなる。

意識してみましょう・・・「そっか、〇〇だったんだね」「一緒に考えてみようか」

★子どもとつながる7つの習慣☞ 応援する・励ます・傾聴する・信頼する・尊重する・
違いを話し合う・受け入れる

★子どもとぶつかる7つの習慣☞ 批判する・責める・文句を言う・脅す・罰する・
目先のご褒美でコントロールする・がみがみ小言を言う

※『自分でできる子に育つ ほめ方・しかり方』(島村華子 著)より

◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会 生涯学習課 推進係 (担当 渡辺・海老原)



【電話】0476-33-4713

【Fax】0476-42-0033